



近畿地区大会高槻大会 主管青年会議所事業報告書

一般社団法人高槻青年会議所

7 2-3

Kinkichiku
Takatsukitaikai

CONTENTS

03

主管青年会議所代表挨拶

一般社団法人高槻青年会議所 理事長 高玉 要
実行委員長 高岡 映俊

04

地区大会誘致～前年準備 / 2019-2021

近畿地区大会の主管立候補に向けた準備
主管立候補届の提出と高槻大会の決定
近畿地区大会高槻大会準備室の設置とPR活動

06

大会開催に向けた準備 / 2022

近畿地区協議会との連携／副主管契約締結式
各種会議・各地大会でのPR／おもてなし企画

08

大会当日の様子

各種フォーラム／大会式典／フェスタ（JCI EXPO 2022 in KINKI）

10

シニアクラブのご協力

ゴルフコンペ／懇親会

12

大会開催後の「益」

主管益／地域益／参加者益／社会益

14

編集後記

主管青年会議所代表挨拶

平素より JCI 高槻の運動に対するご理解並びにお力添えを賜っております市民、行政、各種団体の皆様に厚く御礼を申し上げます。当会は、本年度に創立 55 周年を迎え、創立以来初となる近畿地区大会高槻大会を主管させていただきました。大会テーマの「BEYOND EXPERIENCE」にありますように、長期化するコロナ禍を乗り越えて 3 年ぶりにすべての企画をリアルで開催し、ご参加いただく皆様にとってこれまでの様々な経験を超える学びや気づきの機会としていただきました。加えて、2025 年開催予定の大阪・関西万博を見据え、有識者による「大阪・関西万博フォーラム」の実施や大阪・関西万博に向けて活動する企業・団体によるブースなどを設置し、大阪・関西万博と地域が発展する未来とが紐づく機会を創出させていただくことができました。ご協力賜りました関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、本大会が近畿各地の発展に寄与しますことを心よりご祈念申し上げます。



一般社団法人高槻青年会議所
理事長 高玉 要



一般社団法人高槻青年会議所
近畿地区大会実行特別委員会
実行委員長 高岡 映俊

近畿地区大会という貴重な機会をいただき、さらに実行委員長という担いをいただけたことに感謝御礼申し上げます。私はこの近畿地区大会を通じて、自身の成長はもちろん、組織の成長につながったと思っております。何より経験したことのない非常に大規模の大会を JCI 高槻と近畿地区協議会で手を取り合い構築したことこそが新たな気づきや多くの学びがあったのかと思います。主管 LOM としては炎天下の前日準備、雨の中での当日設営、両日ともメンバー一人ひとりがそれぞれの役割を全うしてくれたおかげでこの近畿地区は成功に終わったと感じております。これまで携わって頂いたすべての方々に感謝を申し上げますとともに、開催後にこそ価値を生み出す意味のある近畿地区大会となるよう引き続き運動を展開してまいります。

地区大会誘致～前年準備

近畿地区大会の主管立候補に向けて準備を開始

JCI 高槻内で、2022年度近畿地区大会の主管青年会議所に立候補することの検討を開始しました。近畿地区大会を主管するという重責を担えるかどうか、地域にどのような価値を遺すことができるか等、様々な検討の上、近畿地区大会の主管立候補に挑戦することを決意しました。



2019年度

2020年度

主管立候補届の提出と近畿地区大会高槻大会の決定

2月に主管立候補届を近畿地区協議会に提出させていただきました。式典会場やフェスタ会場など事前に会場選定を行っていましたが、当初予定していた高槻市民会館の新施設は新型コロナウイルスの影響により工期が延長され、会場の再選定に困ったことを昨日のこのように覚えています。新型コロナウイルスの影響で非常に動きづらい年ではありましたが、6月頃に近畿地区協議会の役員のみなさまと共に会場視察を行わせていただき、その後、7月の近畿地区協議会の役員会にて正式に2022年度近畿地区大会の主管青年会議所としてJCI 高槻を選定いただきました。選定いただいたことに感謝をするとともに、2022年度の地区大会の開催に向けた準備を開始しました。



右肩上がりの準備

2021年度

近畿地区大会高槻大会準備室の設置と各地PR

翌年度の近畿地区大会高槻大会の開催に向けて、近畿地区大会高槻大会準備室をLOM内に設置し、近畿地区大会PR用のオリジナル法被や横断幕、PR動画の制作を行いました。その後、近畿地区協議会歴代会長や歴代役員のみなさまの前で近畿地区大会高槻大会のPRを行わせていただくなど、各種会議・大会で精力的に高槻大会のPR活動に取り組みました。

あわせて、主管青年会議所として、行政や地域団体、フォーラム会場やフェスタ会場との調整に取り掛かりました。JCI高槻としても、これまでに取り組んだことのない規模の事業であったため、どこまでの対策が必要なのか模索しながらの準備ではありましたが、近畿地区協議会や各地青年会議所のみなさまにご迷惑をおかけすることのないよう丁寧な準備を心がけました。

また、2022年度予定者期間には、高岡実行委員長を中心に、高槻大会の大会イメージの検討をLOM内で進めておくことで、主管青年会議所の「想い」を固めることに注力しました。その結果、近畿地区協議会とのスムーズな連携を図れたと思います。



大会開催に向けた準備

1. 近畿地区協議会との連携

主催者である近畿地区協議会のみなさまと主管青年会議所であるJCI高槻で、予定者段階から大会日程の調整や現地視察など様々な連携を図ってまいりました。大会テーマ・スローガンの策定では、持続可能な近畿確立委員会の大塚委員長と何度も打ち合わせを重ねたことで、主催者である近畿地区協議会と主管青年会議所のそれぞれの想いを込めたものを策定することができたと考えます。

また、近畿地区協議会との連携強化のために、JCI高槻から出向者も多数輩出させていただきました。フェスタ議案を担当する持続可能な近畿確立委員会の第3小委員会の副委

長にJCI高槻からメンバーを輩出することで、近畿地区大会の主管青年会議所としてだけでなく、地区大会の構築にも十分に参画させていただくことができました。

主催者である近畿地区協議会と主管青年会議所の役割がそれぞれある中で、正直どのように進めるべきか悩むところもありました。しかし、密な連携を図ることができる体制を作れたことで、それぞれの役割の枠を超えた協力関係を築くことができ、開催側も参加者側も「経験を超える」ことができる近畿地区大会を構築できたものと考えます。



2. 副主管契約締結式

大阪ブロック協議会内の28の各地青年会議所の理事長にお集まりいただき、近畿地区大会高槻大会の副主管契約締結式を1月31日に執り行いました。また、立会人として、近畿地区協議会中山会長、大阪ブロック協議会大西会長、持続可能な近畿確立委員会大塚委員長にも契約書に調印していただきました。近畿地区大会高槻大会開催に向けて、各地青年会議所のみなさまと一致団結を図る良い機会となりました。



3. 各種会議・各地大会でのPR

近畿地区大会高槻大会の開催に向けて、近畿地区内の各種会議・各地大会で20回を超えるPRをさせていただきました。その結果、みなさまのご協力により、登録人数と各地青年会議所のブース出展数も目標を達成できました。



- 10/24 大阪ブロック大会岸和田大会
- 10/27 近畿地区歴代役員年代別対抗ゴルフ大会
- 12/21 大阪ブロック協議会北地域会員会議所
- 12/22 近畿地区協議会第3回会員会議所会議
- 1/25 奈良ブロック協議会会員会議所会議
- 1/30 京都ブロック協議会会員会議所会議
- 1/31 大阪ブロック協議会合同出陣式
- 2/ 7 大阪ブロック協議会泉州地域会員会議所会議
- 2/11 兵庫ブロック協議会会員会議所会議
- 2/21 大阪ブロック協議会北河内地域会員会議所会議
- 2/23 滋賀ブロック協議会会員会議所会議
- 2/27 和歌山ブロック協議会会員会議所会議
- 2/28 大阪ブロック協議会北地域会員会議所会議
- 4/25 大阪ブロック協議会北地域会員会議所会議
- 5/22 和歌山ブロック大会式典
- 5/22 京都ブロック大会式典
- 5/25 滋賀ブロック協議会会員会議所会議
- 5/31 大阪ブロック協議会8LOM 合同例会
- 6/ 7 大阪ブロック協議会河内地域会員会議所会議
- 6/17 近畿地区大会高槻大会決り集会
- 6/19 奈良ブロック大会式典
- 6/20 JCI大阪例会
- 6/27 大阪ブロック協議会北地域会員会議所会議

4. おもてなし企画

大会当日高槻市にお越しいただく各地青年会議所のみなさまに向けて、主管青年会議所独自の「おもてなし企画」を実施しました。1つ目は「写真撮影スポット」です。1m級の高槻市・島本町のマスコットキャラクターを左右に設置し、近畿地区大会高槻大会の思い出の1枚を撮影していただきました。2つ目

は「のぼりの設置」です。大会当日に、会場までの経路にのぼりを持つメンバーを配置するとともに、地元商店街にものぼりを設置しました。3つ目は「おもてなしうちわの配布」です。表面には高槻市観光マップ、裏面には各種フォーラムやフェスタのスケジュールを記載したうちわで暑さを凌いでいただきました。



大会当日の様子

各種フォーラム

7/2(土) 11:00~19:30

理念共感で大変革～能動的な人材が溢れる組織に～

(11:00~12:30)

第一部の対談では、共通の目的を持つもの同士で、長期的なビジョンを達成するために輪を広げていくことが非常に大切だと気づく機会となりました。第二部の講演では、理念だけで突き進むだけではなく、しっかりと調査、対話を進めていくことの重要性を学びました。



<講師>

古市 憲寿 (社会学者)
山本 雅史 (アドベンチャーワールド社長)
木戸 伸幸 (Playing Facilitator Lab 発起人)

インクルージョンってなんだろう？

～Think with love and take action～ (14:00~15:30)

第一部の講演では、共生社会（インクルーシブ社会）とは、個性を活かしてわくわく生きることであり、相手の立場になって考えることが大切であることを学びました。第二部のパネルディスカッションでは、健常者側のアンコンシャスバイアスを指摘いただき、気づきを得ることができました。



<講師>

斉藤 りえ (元筆談ホステス、現東京都大田区議会議員)
大久保夫妻 (LGBTQ の啓発団体代表)
山本 恵理 (バラスポーツ推進)

グローバルダイバーシティフォーラム

～国際社会における共生～

(16:00~17:30)

第一部では、「違いとは何か」をお話いただき、違いを受け入れることの大切さを学びました。第二部のパネルディスカッションでは、他国の多様性を理解し受け入れ、地域の中で多様性を活かしていくにはどのように行動すべきかを考える機会となりました。



<講師>

にしゃんた (社会学者・タレント)
濱田 大輔 (アジア住みます芸人)
玉井 喜洋 (株式会社 P.GROUP 代表)
ティミルシナ ウサ (ネパール出身)

地域と世界を結ぶ国際連携ビジネスコンテスト

(18:00~19:30)

近畿地区内の LOM メンバーと海外 LOM メンバーで構成されたチームによって、各地域の特産品などを活かしたグローバルビジネスの可能性については発表が行われました。宇治茶やピワマスの活用等、地域と海外がともに潤う地方創生に繋がっていく可能性を感じる素晴らしいコンテストになりました。



<講師>

奥山 雅之 (グローバルビジネスの第一人者)
横川 敏幸 (Go Bound 代表)
日々 健人 (KANTAN 株式会社 代表取締役)

大会式典

7/3(日) 10:00~11:30



開会宣言

JCI 高槻 高玉理事長による大会式典の開会宣言



大会キー伝達式

近畿地区協議会 中山会長に近畿地区大会の大会キーを返却



姫路大会 PR

2023年度地区大会主管青年会議所であるJCI 姫路による大会 PR

フェスタ JCI EXPO 2022 in KINKI

7/3(日) 11:00~17:00

<ステージプログラム>

- 11:00~11:10 オープニング
- 11:20~12:50 高槻・島本の魅力発信企画
- 13:00~13:15 HIPPY (ライブ)
- 13:20~13:30 開会挨拶
- 13:40~14:40 大阪・関西万博フォーラム
- 15:00~15:30 ハジ→ (ライブ)
- 16:20~16:50 NMB48 (ライブ)
- 16:50~17:00 エンディング



<ブース>

①地域の魅力発信パビリオン

近畿地区内の40の各地青年会議所とそれぞれの地域でSDGsを熱心に推進する企業・団体との協同ブースを出展していただきました。非常に興味深く多彩なブースが出展され、来場者に活動内容を発信していただきました。



②食のパビリオン

主管青年会議所であるJCI高槻の活動エリアである高槻市・島本町の19の飲食店の魅力を発信する飲食ブースを出展していただきました。高槻市・島本町の美味しい飲食店を存分にPRできました。



③関西名産品パビリオン

近畿地区協議会内の6つのブロック協議会より、各府県の名産品を物産店ブースとして出展していただきました。加えて、高槻市・島本町の名産品の物産店ブースを出展していただきました。



④大阪・関西万博パビリオン

大阪・関西万博のテーマに関連した活動を行っている企業・団体やTEAM EXPOで活動している企業・団体による大阪・関西万博を想起させるブースを20ブース出展していただきました。



⑤協賛企業エリア

青年会議所の活動に賛同いただいているコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社やアサヒ飲料株式会社、また、地元企業である丸大食品株式会社や株式会社カンブリなど、10社の協賛企業にブースを出展していただきました。



各パビリオンの インタビュー動画を作成!

近畿地区協議会 持続可能な近畿確立委員会と連携し、各パビリオンのインタビュー動画を作成しました!実際にどのようなブースが出ていたのか、この動画を通して体感してみてください!



↑QRコードを読み取りください

フェスタ来場者数 **14,869人**

シニアクラブのご協力

ゴルフコンペ

7/2(土)

■ 日程・場所

7月2日(土) 午前7:36 1組目スタート

@高槻カントリークラブ

■ 概要

例年と同様にこのコンペはサンケイスポーツ近畿オープンゴルフ選手権のチャリティゴルフとして行いました。IN・OUT スタートともに19組ずつの38組、141名のシニアメンバーにご参加を頂きました。スタッフは朝6時に現場に集合し、なつかしい高槻青年会議所の赤いポロシャツを身に着けて、おもてなしの気持ちで会場の準備をさせて頂きました。

ゴルフ場にお越しになられたシニアメンバーを高槻青年会議所シニアクラブの歴代理事長、地区出向経験者がお出迎えをさせていただき、到着された皆様と親しくお声がけをするなかで、和気あいあいとした雰囲気ですれすれすることができました。じゃがいもゴルフコンペで手慣れたシニアメンバーにより、受付もスムーズに進めることができました。受付にて、おみやげとしてお持ち帰りいただける「2022近畿地区シニア大会高槻大会」が印字されたハンドル付きボトルカバーをお渡しして、スタート時に冷やしたドリンクを入れてお持ちいただき、塩タブレットをカートに設置して、熱中症対策を行いました。また、スタートしてすぐのホールで参加者の皆様の素敵な笑顔を集合写真に収め、すぐに現像することで、お帰りの際にお持ち帰りいただくことができました。楽しい思い出の一コマとして残していただけたと思います。景品についてはサンケイスポーツ様にご協賛を賜り、近畿オープンゴルフのプロアマ大会ご招待券をはじめとして、ドライバーやキャディバッグなど様々なゴルフ用品、お食事券やお茶・ビールといったものまでバラエティに富んだラインナップでした。

ゴルフの進行が遅れて、最終組の皆様が懇親会に到着したのがぎりぎりになるというハプニングもありましたが、澄み渡った青空の下、ご参加いただいたメンバーの皆様にごゴルフを楽しんでいただきました。皆様に「ありがとう、楽しかったよ」とお声がけを頂き、設えをしたシニアクラブ一同としても喜ばしい気持ちになれたゴルフコンペを開催できたのではないかと思います。



懇親会

7/2(土)

■ 日程・場所

7月2日(土) 午後6:00 開宴(午後 5:00 受付開始)

@ホテルアベストグランデ高槻 1階 宴会場

■ 概要

日本JCシニア・クラブ 大阪ブロック 担当世話人の水沼 博先輩、森口 友博先輩の司会にて進行し、まず初めに日本JCシニア・クラブ筆頭世話人代表 兼 近畿地区協議会第44代会長の岡本 安明先輩より近畿地区協議会歴代会長を代表してご挨拶を頂きました。続いて歴代地区会長の皆様のご紹介が行われ、乾杯に移りました。乾杯のご発声は、近畿地区協議会第49代会長の乾 昌弘先輩に頂き、和気あいあいと歓談の時間が始まりました。歓談の間に、ゴルフコンペの表彰式が行われ、賞品を受け取られる皆様の素敵な笑顔があふれていました。歓談が盛り上がる中、アトラクションで登場したのは、現在人気急上昇中のお笑いコンビ「東京 COOL」！ 舞台のみならず会場内も縦横無尽に動き回り、各テーブルで笑い声があがっていました。

その後、現役メンバーとして近畿地区協議会 2022 年度会長の中山 吉典君、今回の主管となるJCI高槻の高玉理事長が挨拶に登壇され、JCI彦根のシニアクラブの皆様から前回の彦根大会の御礼のご挨拶がありました。引き続き、JCI姫路のシニアクラブより2023年度 近畿地区大会姫路大会のPRが、またJCI奈良のシニアクラブより2024年度近畿地区大会奈良大会のPRが行われました。

閉会の時間が近づくころ、主管LOMの御礼ご挨拶として、高槻青年会議所シニアクラブ近畿地区大会高槻大会 佐竹 龍二大会実行委員長より皆様にご協力に対する感謝をお伝えいたしました。最後に、日本JCシニアクラブ顧問 兼 近畿地区協議会第41代会長の岡田 兼明先輩による閉会のご挨拶にて、懇親会は盛会のうちに閉会となりました。

参加者の皆様へおみやげとして、高槻市のマスコットキャラクターはにたんの「はにたん最中」(株式会社薩喜庵)、島本町の離宮の水を使用した「水無瀬離宮車厘(ゼリー)」(パティスリー イル・リーヴル)をお持ち帰りいただき、高槻市・島本町をより感じて頂くことができました。



大会開催後の「益」

主管益



一般社団法人高槻青年会議所
副委員長 後宮 淳一

自身は近畿地区協議会にも出向し、この近畿地区大会を通じて、数多くの方との出会いや地域の方と連携を図る機会をいただきました。主管益としては、地域住民の方からの期待の声をお聞きすると共に、自身にとってもこの大会で大きく成長させて頂いた事に感謝しております。



一般社団法人高槻青年会議所
委員 川村 亮介

高槻大会を通じて、いままで以上に青年会議所の可能性を感じることができました。これまで参加したことがない規模の事業を主管青年会議所のメンバーとして経験させていただいたことに感謝し、JC 活動にもあらためて熱が入りました。

地域益



公社) 高槻市観光協会
事務局長 北 建夫 様

観光スポットや飲食店などの情報を掲載している「たかつき観光アプリ」のPRにより、約100名の方にダウンロードいただくとともに、関西各地との交流を図り、高槻市の観光資源の魅力発信、地域間交流につながりました。



安満遺跡公園パートナーズ
所長 植木 孝行 様

本大会は安満遺跡公園で過去最大規模のイベントという事もあり、当初は課題が山積で本当に当園で実施可能だろうかと懸念しておりましたが、近畿地区大会や地域の皆様への想いをお伺いさせていただき、課題点を一つずつクリアにして実現したイベントでした。今大会を通じて改めて地域連携の大切さを気づかせていただき感謝申し上げます。

参加者益

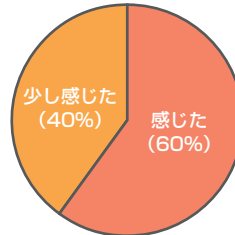


守屋 亜美 様（高槻市民）

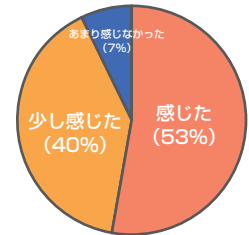
普段利用している安満遺跡公園での大きなイベントをととても楽しみにしていましたが、想像を超えたスケールでコロナ禍の中ではありますが安心してイベントに参加することができました。地域の地酒や、普段お店に行かないと味わえない店舗が多数出店しており、存分に楽しむことができました。

<来場者アンケート>

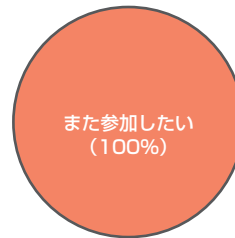
Q. 近畿地区内の各地域の魅力を感じられたか



Q. 近畿地区内の各地域の未来に可能性を感じられたか



Q. このような事業があればまた参加したいか



社会益

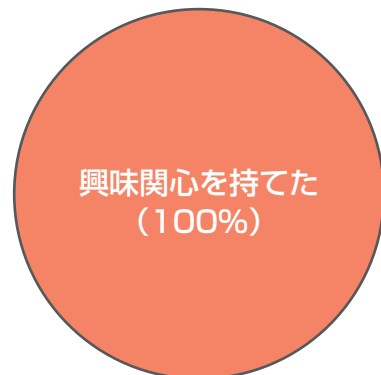


公社) 2025年日本国際博覧会協会
機運醸成局 企画部 共創促進課
課長代理 深澤 一宏 様

大阪・関西万博としても、多くの方々に関心をいただく機会となり、ありがたく感じています。また、「TEAM EXPO 2025」プログラムから出展された皆さんからも、多くの交流ができたと感謝の言葉を多数いただいています。

<来場者アンケート>

Q. 大阪・関西万博への興味関心を持つことができたか



「近畿地区大会高槻大会主管青年会議所事業報告書」の作成を通して、近畿地区大会高槻大会に関わる様々な人たちの想いのご協力により高槻大会を開催できたことを強く感じる事ができました。高槻大会の誘致や大会開催に向けた準備、そして高槻大会の事業構築と、長年に渡ってご支援・ご協力いただきましたみなさまにあらためて感謝申し上げます。

近畿地区大会を主管した高槻青年会議所としても、主となって関わらせていただいたメンバーだけに限らず、メンバー一人ひとりが感じたものも多く、地区大会の主管という非常に貴重な機会をいただけたことが、我々のさらなる成長に繋がっていくものと感じています。今後近畿地区大会を主管する可能性がある青年会議所のみなさまにおかれましては、地区大会を主管することは非常に大変なこともあるかと思いますが、ぜひとも組織一丸となって地区大会の主管に挑戦していただきたいと考えています。

この「近畿地区大会高槻大会主管青年会議所事業報告書」が、今後近畿地区大会を主管する青年会議所のみなさまの新たな挑戦と事業構築の参考になることを祈念しております。

一般社団法人高槻青年会議所 近畿地区大会実行特別委員会

[近畿地区大会実行特別委員会]

副理事長：竹中 健
実行委員長：高岡 映俊

[近畿地区協議会 役員 出向]

顧問：元木 弘教

[近畿地区協議会 持続可能な近畿確立委員会 出向]

副委員長：西 宣博
小幹事：芳中 雅史
委員：後宮 淳一
上田 洋平
国友 洋平
橋 幸佑
竹中 健
西田 卓矢
藤林 龍司
堀江 達也

[近畿地区協議会 インクルージョン確立委員会 出向]

委員長：上元 裕輝
総括幹事：高井 浩司
委員：東 良樹
伊藤 聡
大塚 友恵
佐藤 淳史
田中 健太
早野 孝臣

[近畿地区協議会 総務委員会 出向]

副委員長：泉野 恭兵
小幹事：石田 佳章
委員：石本 力
川端 康寛
吉岡 辰



経験を超えていけ!

BEYOND EXPERIENCE